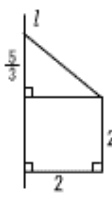
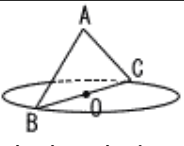
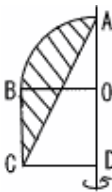
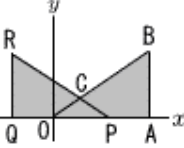


| 3 図形   |                    | 27 回転体  | 月 日 ( )          |
|--|--------------------|---|------------------|
| 1  | 専修大附属高校 (R4年) ★    | 4   | 慶應義塾高校 (R5年) ★★★ |
| <p>図のような台形を、直線 <math>l</math> を軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は <math>\pi</math> を用いること。</p>   |                    | <p>辺BC直径とする半径1の円Oと辺BCを斜辺とする直角二等辺三角形ABCがある。円Oを含む平面と△ABCを含む平面が垂直で、辺ABの中点を点Dとするとき、</p>  <p>(1) OAを軸として△BCDを1回転させたとき、△BCDとその内部が通った部分の立体の体積を求めよ。</p>  |                  |
| 2  | 成蹊高校 (R4年) ★       | <p>(2) ABを軸として円Oを1回転させたとき、円Oとその内部が通った部分の立体の表面積を求めよ。</p>   |                  |
| <p>図のように、半径3、中心角90°のおうぎ形OABと正方形OBCDを組み合わせた図形に線分ACを引く。斜線部分を、直線ADを軸として1回転させてできる立体の体積を求めよ。</p>   |                    |   |                  |
| 3  | 早大本庄高等学院 (R5年) ★★★ | 5   | 早大高等学院 (R4年) ★★★ |
| <p>原点をOとする座標平面上に点 <math>A(\sqrt{3},0)</math>, <math>B(\sqrt{3},1)</math> がある。 <math>0 \leq t \leq \sqrt{3}</math> に対して、 <math>P(t,0)</math>, <math>Q(t-\sqrt{3},0)</math>, <math>R(t-\sqrt{3},1)</math> をとる。直線PRと直線OBの交点をCとする。5つの線分AB, BC, CR, RQ, QAで囲まれる部分の図形を、<math>x</math>軸を軸として一回転させてできる立体をMとする。</p>  <p>(1) 点Cの座標を <math>t</math> を用いて表せ。</p> <p>(2) 立体Mの体積 <math>V</math> を <math>t</math> を用いて表せ。</p> <p>(3) 立体Mの表面積 <math>S</math> を <math>t</math> を用いて表せ。</p> |                    | <p>(1) <math>AB=AC, BC=1, \angle ABC=72^\circ</math> の二等辺三角形ABCについて、</p> <p>① <math>\angle ABC</math> の二等分線と辺ACとの交点をDとすると、線分CDの長さを求めよ。</p> <p>② 頂点Bから辺ACへ垂線をひき、辺ACとの交点をEとすると、<math>BE^2</math> の値を求めよ。</p> <p>(2) <math>PQ=1+\sqrt{5}, \angle PRQ=90^\circ, \angle QPR=54^\circ</math> の直角三角形PQRを辺QRのまわりに1回転してできる立体の体積を求めよ。</p> |                  |